

日本労働社会学会『通信』

v o l . XVIII, no. 4 (2006年 5 月)

日本労働社会学会事務局 (第18期)  
〒402-8555 山梨県都留市田原3-8-1  
都留文科大学社会学科 田中夏子 (たなかなつこ)  
tel.0554-43-4341 fax.0554-43-4347

e-mail: natsu@tsuru.ac.jp

学会HP: <http://www.jals.jp>

◆郵便振り込み口座番号

00150-1-85076

「日本労働社会学会 村尾祐美子」

◆銀行振り込み口座番号

東京三菱銀行 大塚支店

普通 口座番号 1519051

「日本労働社会学会 会計 村尾祐美子」

◆年会費 学生・院生会員→6000円 / 一般会員→10000円

---

目次

- I. 第19回日本労働社会学会大会の開催日程について
  - II. 第19回日本労働社会学会第19回シンポジウムについて
  - III. 第19回労働社会学会大会自由報告募集について
  - IV. 次回の研究例会及び幹事会日程
- 

I. 第19回労働社会学会大会の開催日程について

日本労働社会学会では第19回大会を、2006年10月14日土曜〔自由報告〕、15日日曜〔シンポジウム〕の日程で、創価大学〔東京都八王子市〕にて開催します。また、10月13日金曜には工場見学を予定しています。ふるってご参加ください。

II. 日本労働社会学会第19回シンポジウムについて (シンポジウム企画 担当幹事 大野 威)

(1) テーマ「今、労働者調査を考える (仮題)」 (10月15日創価大学 (八王子))。

(2) 趣旨

現在、労働社会学会に所属する会員は、多岐多様な領域ですぐれた研究・調査活動をおこなっています。ところが、その一方で、研究成果や研究課題の共有化が充分におこなわれているかと言えば、かならずしもそうでない状況にあります。

そこで今回の労働社会学会大会では、「今、労働者調査を考える (課題)」をテーマにシンポジウムを開催することを決定しました。シンポジウムでは、小売・百貨店、自動車、鉄鋼、非正規労働の各分野 (アイウ順) を代表する研究者の方に、同分野の労働調査の歴史を振り返っていただくとともに (どのような広がりやスパンでお話いただくかは、最終的にはシンポジストの方の判断におまかせします)、その蓄積の中で、それぞれの研究成果の到達点や課題をどう考えるか、といったことを議論していただけたらと考えております。

パネリスト：上原慎一先生 (鉄鋼業)、木本喜美子先生 (サービス業)、野原光先生 (自動車)、三山雅子先生 (非正規労働分野) (アイウエオ順)。

司会：山下充先生

コメンテーター：河西宏祐先生、大野

### III. 日本労働社会学会 第19回大会 自由論題報告のエントリーについて

10月14日（土）に開催される、自由論題報告での報告希望者を募集いたします。報告希望者は下記の要領にしたがって、エントリーくださいますよう、よろしくお願ひします。

1. 下記宛に電子メールにて、エントリー文書を送ってください。電子メールを使用されない方は、同じく下記宛にファックスまたは郵便にて、エントリー文書を送ってください。

エントリー文書送付先

中川 功（日本労働社会学会・研究活動担当幹事）

E-mail : isaopin@ner.takushoku-u.ac.jp、tel:03-3947-9174

FAX : 03-3947-7289（政経学部・中川功宛）

住所：〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14 拓殖大学政経学部

2. エントリー文書には、つぎの9項目をかならずご記入ください。

(1)氏名、(2)ふりがな、(3)所属、(4)連絡先住所、(5)連絡先電話番号、(6)連絡先電子メールアドレス、(7)報告タイトル、(8)報告内容の主旨（150字程度）、(9)プレゼンテーション機器の使用希望の有無（パワーポイント、OHPなど）。

3. エントリー締切

2006年6月30日（金）厳守。 \*郵送のばあいには同日、必着にてお願ひします。

4. エントリー文書に基づいて幹事会で検討のうえ、報告の可否を7月中旬にご連絡いたします。

5. 報告が決定した方は、大会パンフレットに掲載される報告要旨（A4 1枚）を、7月29日（土曜）までにご提出いただきます。

6. 大会当日の報告では、以下の諸注意を厳守いただきます。

(1)報告当日に報告要旨とは別に、ハードコピーの資料を用意すること（50部）。

(2)プレゼンテーション機器の使用を希望される方は、USBメモリーやCD-ROMなど、コンピュータ間で互換性の高い媒体を用意すること。また念のため、各自のノートパソコンを持参すること。

(3)報告テーマと先行研究との関係に、報告でかならず触れること。

(4)海外動向を報告テーマとする場合、当該の国・地域の事情に詳しくない者にとっても理解しやすい報告を心がけること。

(5)どこがオリジナルな研究であるのか、聴衆に把握できるような報告を心がけること。

以上

### IV. 次回の研究例会及び幹事会の日程

日時 7月1日 土曜

12:00-13:30 幹事会

13:30-15:00 大会シンポジウムの打ち合わせ（時間内に終わらなければ、場所をかえて打ち合わせを続行）

15:00-17:30 研究会 内容につきましては、追ってご連絡いたします。

場所 明治大学駿河台キャンパス12号館2101教室 場所の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.meiji.ac.jp/campus/suruga.html>